

日本共産党恵庭市 後援会ニュース

2026年4月 No.67 恵庭市後援会 (部内資料) TEL/FAX : 33-5285

無法の限りを尽くす米・イスラエルのイラン攻撃に抗議！

— 3月29日、恵庭駅でのスタンディングに20数名が参加 —

交渉の最中に突然イランへの攻撃を始めた米・イスラエル。戦争目的も出口戦略も曖昧なまま武力で相手をねじ伏せるやり方に、米国はもとより世界中から批判を浴びている。イランを“石器時代”に戻すと恫喝するトランプ、そして“イランを徹底的に叩く”と叫ぶネタニヤフに、世界中の人々が強い憤りと理不尽さを覚えている。戦後処理の明確なビジョンも持たずに、再びイラクやアフガニスタンのように地域に混乱を引き起こすだけの結果になるのではないだろうか？



【恵庭駅自由通路】

「イラン攻撃の即時中止と自衛隊艦船のホルムズ海峡への派遣拒否」を訴えたシールアンケートでは、応えてくれた34人の市民全員が戦争反対を表明。先の日米首脳会談でも、憲法9条の制約を理由に自衛隊艦船の派遣は難しいと伝えたとされ、9条が防波堤となって戦争への加担を防いだのがせめてもの救いとなった。

今回のイラン攻撃に、在日米軍の艦艇や海兵隊も出撃している。そもそも日米安保条約の第6条では、日本の施政権が及ぶ「日本と極東の平和と安全に寄する」のが在日米軍の役割で、これ以外の地域での作戦行動は「事前協議」が必要で日本政府の同意が必要になる。しかし、かつてのベトナムやイラク戦争も含めこれまで事前協議は一度も行われておらず、日本は米軍の海外侵略の出撃基地となっている。今回のイラン攻撃で、NATO 諸国は国内の米軍基地の使用を認めなかったのに対し、日本政府はこれに一言の抗議もせず、米国への従属ぶりを露わにしている。

東京・清瀬市に共産党員市長が誕生！

「図書館守って」に応え、市民運動が生んだ原田市長！

「市民とともに市政を変えるきよせの会」から無所属で立候補した元共産党市議の原田博美氏が、清瀬市長に当選しました。全国4人目の共産党首長です。同市では昨年3月末に6館あった地域図書館が3館に減らされたため、住民投票など存続を求める市民運動が広がりました。原田氏は「市民の声がちゃんと届く市政」「対話によるまちづくり」などの実現を目指して立候補しました。

【サービス切り捨てに不満噴出】 前市長は「経費削減」を理由に、この4年間で3つの地域図書館、2つの市役所出張所、保養施設、学校プールなどを次々と廃止。市民の声を軽視した市政運営への不信と、「選択と集中」を掲げた新自由主義的な行政「改革」を進める自民党政治に対して厳しい批判がありました。公共サービスの縮小と住民生活を犠牲にする開発は、文化・福祉・教育を後回しにし、自治体の公共責任を弱める懸念があります。選挙戦で「公共を取り戻す」と訴えた原田氏の主張は、公共施設の廃止に不満を感じていた市民の思いと重なり、地域図書館を守る運動は「市政を変えたい」という大きな流れに発展し、共産党員の市長誕生に繋がりました。

【令和の瓦版】

議会を傍聴して

第1回定例会の最終日となる3月24日の市議会を傍聴して、とてもビックリしました。「給食費無償化を求める請願」と「アメリカによる武力行使に抗議する決議」が、多くの与党議員により否決されました。その反対理由は不明ですが、いま国内外で多くの市民が戦争への不安と悲惨な状況に胸を痛めている中で、これに背を向ける反対議員の見識が疑われます。

障がい者虐待事件-被害者に背を向ける市と牧場

4月1日のテレビ番組「イチオシ」で、恵庭市が訴えられている裁判での和解交渉についての報道がありました。原告側は、障がい者に対する虐待の事実を認め、責任と謝罪を求めていましたが、市側は和解金を提案する一方、責任と謝罪については拒否しました。裁判開始から2年以上が過ぎましたが、市と牧場側のこれまでの対応は非常に不誠実で、障がい者に対する配慮などが感じられず、とても残念な対応になっています。

アースデー(地球の日)に向けた取り組み

毎年4月22日は「地球環境について考え、行動する日」として世界193ヶ国以上、10億人以上が参加する世界最大級の環境保護運動。気候変動や廃プラスチック問題など、環境を守るための多様な取り組みが企業や市民の手で行われています。恵庭でも新日本婦人の会が毎年取り組んでおり、誰でも自由に参加できます！（手袋やゴミ拾いの道具を持参して参加）

日時：4月22日(水) 10時～、 集合場所：道の駅スターボックス前

小林たくや通信 No. 53

先日、恵庭駅の自由通路でアメリカ・イスラエルの軍事侵攻に反対する集会を行いました。国際法違反の軍事侵攻で、多くの女性や子どもたちが犠牲になっています。日本共産党は一貫して武力行使に反対し、対話と外交による平和的解決を求めてきました。

先日、長年にわたって恵庭市の党を支えてきた方が亡くなりました。私たちの先輩である多くの同志たちもまた、「戦争のない社会」「誰もが安心して暮らせる世の中を」という強い思いを抱いて活動してきました。その志は決して途切れることなく、今を生きる私たちが受け継ぎ、広げていかなければなりません。これまでに亡くなられた党员の方々のご尽力と、その志に深い敬意と感謝を表するとともに、私自身、その思いを胸に刻み、平和と暮らしを守るための活動にこれまで以上に力を尽くす決意です。

== 小林議員の市政懇談会のお知らせ ==

4月25日(土) 13:30～ こまば交流館（駒場町4丁目1-25）

議員の議会活動の様子や市政に対する質問や要望、そして日常生活に係わる相談や困りごとなど、何でも相談・話し合いできる集いです。

皆さんの参加をお待ちしています！
